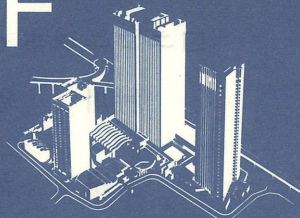


THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH WEEKLY REPORT



東京新南ロータリークラブ週報

July 31, 1987 No. 40

今年度のターゲット (チャールズ C. ケラー)

ロータリアン--奉仕に結束--平和に献身

ROTARIANS--UNITED IN SERVICE--DEDICATED TO PEACE

○ 本日の予定

昭和62年 7月31日 (第42回)

卓話 イニシエーションスピーチ

『黒板よもやま話』/吉田 用親 君

先週報告

昭和62年 7月24日 (第41回)

◎卓話: 『すべての出合いは飲食から』 (イニシエーションスピーチ) / 四分一 勝君

司会: 田島 一郎 会長

♪ ロータリーソング: それでこそロータリー ソングリーダー: 福田恭三 君

ニコニコBOX 紹介: 渡邊 治 君 来客紹介: 安藤大助 君

出席状況	会 員	38 名中	出席	31名	欠席	7名
	来 客	11 名	(都内 9名 地方 2名)			
	ゲスト	1 名				

□ R I 情報抄録より (1987年 7月号)



メイクアップして「直ちに友人に」なろう

所属クラブに欠席したため、別のロータリー・クラブで「メイクアップ」した、という経験がないとしたら、会員身分に伴う最高の特典の一つを見逃しているとも言えましょう。出かけて行って、直ちに友人になれるところが、世界のどこにあるのでしょうか。あなたは、訪問先の地域社会の職業界の指導者と親睦を共に楽しめます。あなたの視野を広げるような情報やアイデアを交換し、互いの見解を語り合ってください。

「メイクアップ」というアイデアは、出席向上を目的として奨励されるのが普通です。それも事実には違いないありませんが、本当の価値は、あなたの新しい「友人」との相互交流を通じて得られる貴重な体験にあります。

--クラブ会報より

□ニコニコボックス (S62/7/24 敬称略・順不同)

村川 優 当クラブ推薦の財団奨学生候補者黒川あゆみ君が地区ガバナーよりR.I.に正式に推薦されることになったので祝意を表したい
渡邊 治 黒川あゆみさんの当選を祈念して
鈴木 重徳 ハワイ・ワイキキにコンドミニウム1戸買いましたので



本日の合計 3件 9,000 円

それぞれ、多額のご寄付を頂きました。有り難うございます。

◎Visitors (順不同・敬称略)

勝浦RC	塩田 敬司	群馬太田RC	鈴木 霊孝
東京RC	梅垣 哲郎	東京城西RC	山岡竹三郎
東京 南RC	松島 義昭	永沢 滋夫	三木
	Schmidt Heinz	扇谷 寿	松阪麻樹生
	高山 成雄		

○Guest 柴本 芳郎 (村川君ゲスト)

□幹事報告

- ① 1988～1989年ロータリー財団奨学生に
当クラブ推薦の黒川あゆみさんが三次選考まで残りました。これで正候補者として地区ガバナーよりロータリー財団に推薦される事になります。
又、黒川さんのカウンセラーは村川 優君にお引き受け頂く事に成りましたのでご報告申し上げます。

- ② 8月の火曜会は 8月 4日です。(於：マエストロ森ビル2F 時：5:00 P.M.)

□他クラブ例会臨時変更

東京 南RC 昭和62年 9月17日 (木) 18:00～20:00
昭和63年 3月31日 (木) 〃
昭和63年 5月26日 (木) 〃

昭和62年12月31日 (木)は昭和62年12月29日 (火)に変更 12:30 ～ 13:30
いづれも於：東京会館 11F

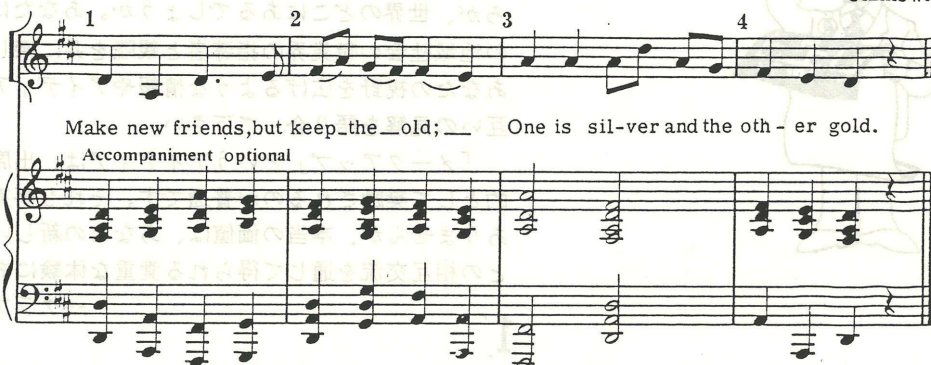
One of Rotary Songs (International)

43

Make New Friends

(Round)

Unknown



この暑いさなかに血迷ったようなタイトルだが、赤坂の一介の魚屋に生まれ育った私が、おやじのあとを継いだのが23才の時、大学を中退してすぐに新富町の料理屋に奉公に行き、数年ののち戻って家事の手つだいを始めた。子供の頃から魚屋になろうとは考えたこともなかったが、当時のうちの仕事は、店売りはほんのわずかで、ほとんどは料理の仕出しをしていた。

私はというと、夕方から料亭へ料理人として出むいていたが、帳場、玄関番、おはこびとなんでもやったので、日本を動かしている方々と言葉をかわすこともあった。政界はもとより、財界、官界あらゆる組み合わせで当時の赤坂の夜はにぎわっていた。そんな中でもとりわけ興銀の中山基平氏、来島ドッグの坪内寿夫社長などは今の活躍がしのばれるような人柄をかいま見ることが出来た。その頃考えはじめたことなのだが、

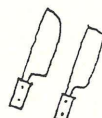
食べるということでの人間の出会い、いろいろな可能性を秘めたすべての出発点があるのではないかと。そして30才をすぎたら飲食店を始めようと考えていた。

現実的に方向転換を考えるきっかけになったのは、三代目の魚屋を継ぐ時の親父の言葉だった。「今日からお前が主人だ。商売変えしようが、大きくしようがつぶそうがお前の勝手だ」この言葉は痛烈だった。この頃出合った三人の仲間とは連日合宿のような生活をしながら「本物の飲食店」を語りあっていた。そんなある日、六本木を歩いていた時、これから建築予定の立札が目にとまり、吸いこまれるように飛びこんだ。これが現在の「天ぶらの魚新」である。

手付はうったものの、何をやるのかも決っていない。そのころ私は欧風居酒屋「タート・ヴァレ」の経営に参加していて、開店まもない時期で、寝る時間もなくような毎日だったが、設計・建築は大好きな分野なので、なにか舞台を作るような気持で、雰囲気と色彩を大事にした天ぶら屋をつくることにした。老若男女だれにでも親しめる食べ物で、場所がら外国人も多い。しかし、人間の素敵な出会いの場所にする為に、われわれ自身の教育からまず始めなければならない。それは飲食業を営む者は、最高の料理をリーズナブルな価格で清潔な店で心暖まるサービスでお出しする。当然なことです、この店ではもう一歩ふみ込んで「すべての出合いは飲食から」をテーマにした店として、人と人の出会いが素晴らしいものになるようお手伝い出来たらと念じ、又私共もその中から素敵な刺激を受けて、成長させていただく、そんな店にしたいと考えました。

そして、いろいろな気質を持ったスタッフがそろい、出会いの舞台も出来上り55年1月いよいよ幕開けの日が来た訳です。

それからお客様にかわいがられ、何とか先のメドが立って、ようやく落ち着いてきましたがこれからも益々頑張っ参りたいと思います。



○ 次週の予定

昭和62年 8月 7日 (第43回)

卓話（インシェーションスピーチ） 『旅の裏方』

石川 久夫君／太平洋観光専務取締役

受 付	来客紹介	会 計	日 付	ニコニコボックス	会 場
中野 宮本	青野 山本	入沢 安藤	8/ 7	吉田 大日方	保科 吉田 平井 石川 丸山 大日方 佐藤 (幸) 鈴木 武下 飛島 渡邊 山川 保森 以上全員で
岩上	田中 山川	三溝 二宮	8/14	平井 飛島	
河原	宮本 福田	四分一 小西	8/21	武下 保森	
二宮	入沢 三溝	青野 山川	8/28	丸山 石川	
田中	三溝 小西	河原 福田	9/ 4	佐藤 (幸) 鈴木	

会長／田島一郎

副会長／佐藤定宏

幹事／川鍋達朗

会報／齊藤茂之

東京新南ロータリークラブ

事務所々在地：東京港区赤坂 2-22-19南部坂アネックス 201 号

電話：505-5976 (ファクシミリは同番で切り替え)